

春から夏に播ける緑肥作物品種のご紹介



<詳しい播種期は特性一覧表をご覧ください>

クロタラリア

**ネマキング、ネマックス、
ネマコロリ**

都府県
対応



特性

- ・各種線虫対策にはネマキングとネマックス、サツマイモネコブセンチュウ対策にはネマコロリが適する。
- ・ネマックスは晩生のクロタラリアで、開花は初秋(景観美化にはネマキングが適する)。
- ・ネマコロリは50～60日栽培ですき込み可能。
- ・特にネマキングとネマックスは茎葉が空洞になっておりネマコロリよりもすき込み易い。

播種量 ネマキング、ネマックス：6～9 kg / 10a
ネマコロリ：6～8 kg / 10a

ギニアグラス

ソイルクリーン®

都府県
対応



特性

- ・各種ネコブセンチュウ(サツマイモネコブセンチュウ、ジャワネコブ、キタネグサレセンチュウ)抑制効果が高く、キタネグサレセンチュウにもある程度の効果を持つので、果菜類や根物野菜への緑肥に適する。
- ・ソルガムより線虫抑制効果は安定しており、短期多収型でもあるため、ソルガムの代替えとして適する。
- ・従来のギニアグラスよりも初期生育が早く、雑草競合に対しても優れる。

播種量 0.3～0.5kg (条播) 1.0～1.5kg (散播)

栽培上の注意

- ・播種後は覆土・鎮圧を必ず行ってください。
- ・雑草化のおそれがあるため出穂前にすき込みましょう。

ソルガム

つちたろう®(ジャンボ)

全国
対応



特性

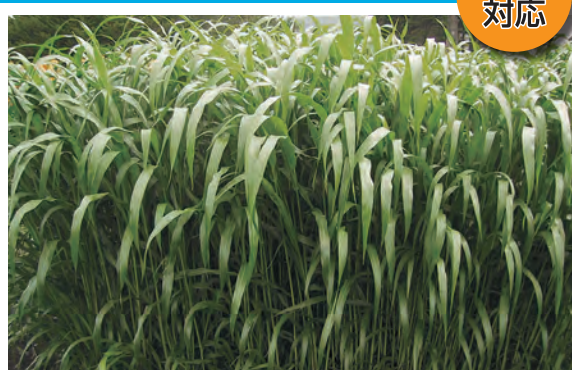
- ・トマト、キュウリ、メロン等果菜類のサツマイモネコブセンチュウ対策に適する。
- ・サツマイモの休閒緑肥で線虫対策と土づくり。
- ・出穂が遅く、都府県の露地やハウスで、2か月栽培で5～6トンの有機物を確保(堆肥：3～4ト分)。
- ・ハウスでは過剰な塩類を吸収、刈り出せばクリーニングクロップとして利用可能。

播種量 5 kg / 10a

スーダングラス

ねまへらそう®(スーパーダン2)

全国
対応



特性

- ・出穂が遅い極晩生品種で分けつが多い。
- ・キタネグサレセンチュウや、サツマイモネコブセンチュウの密度を減らす。
- ・ギニアグラスに比べ、種子が大きく、発芽・初期生育が良好で扱い易い。

播種量 5 kg / 10a

※品種名が商品名と異なる場合は、商品名の後ろに書かれている()内に品種名を記載しています。

春から秋に播ける緑肥作物品種のご紹介



<詳しい播種期は特性一覧表をご覧ください>

ヘアリーベッチ

まめ助[®](ナモイ)、藤えもん[®](マッサ)、
寒太郎[®](サバン)

全国
対応



特性

- ・根に共生する根粒菌で土づくりと窒素減肥が可能。
- ・草生栽培やリビングマルチで雑草対策にも適する。
- ・まめ助：早生・多収、藤えもん：早生・立性、寒太郎：晩生・多収
- ・寒太郎は積雪地帯でも越冬性良好。

播種量 3～5 kg / 10a

栽培上の注意

- ・排水対策と覆土・鎮圧を必ず実施してください。

カラシナ

辛神
からじん

PVP

全国
対応



特性

- ・アブラナ科の緑肥ですき込み後に分解して、イソチオシアネートが病原菌や線虫を抑制。
- ・ハウレンソウ萎凋病、テンサイ根腐病、コムギ立枯病抑制に効果を発揮！

播種量 1.0 kg (生種子) 1.0～1.5 kg (コート種子) / 10a

栽培上の注意

- ・ハウスは入り口をネットで閉め、虫害を防ぎます。
- ・すき込み後の灌水処理とビニール被覆で効果が安定します。

アウェナ ストリゴサ(エンバク野生種)

ヘイオーツ

全国
対応



特性

- ・ダイコン、ニンジン、ゴボウ等の大敵であるキタネグサレセンチュウを抑制する。
- ・発芽・初期生育が旺盛で雑草抑制効果があり、扱い易い！
- ・アブラナ科根こぶ病、ジャガイモそうか病、バーティシリウム萎凋病を減らす。
- ・約2か月栽培で堆肥2分の有機物を補給。

播種量 10～15 kg / 10a

栽培上の注意

- ・都府県(一般地)の播種は5月まで、これ以降はねまへらそうかソイルクリーンで対応してください。

ライムギ

R-007(ウィーラー)

全国
対応



特性

- ・積雪地帯での越冬利用に適する。
- ・春播きで出穂が少なく、雑草抑制のカバークロップとして適する。

播種量 10～15 kg / 10a

栽培上の注意

- ・出穂前にすき込みましょう。
- ・春播きで線虫抑制には使用できません。

※品種名が商品名と異なる場合は、商品名の後ろに書かれている()内に品種名を記載しています。